

小規模企業景気動向調査

[平成24年2月期調査]

～全体では2カ月連続の改善となったが、一部の業種を除き、依然先行き不安な小規模企業景況～

2012年3月27日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2012年2月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…全体では2カ月連続の改善となったが、一部の業種を除き、依然先行き不安な小規模企業景況…◇

2月期の小規模企業景気動向調査では、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は、前月から2.3pt上昇で、▲34.9ptと2カ月連続の改善となった。特に、建設業の業況DIでは10.6%と2桁の伸びが見られた。一方で、小売業やサービス業は前月とほぼ同水準であった。厳しい寒さやガソリン価格の上昇により、来店頻度が下がり、売上も伸び悩み、苦しい状況が続いている。

<製造業> ◇…業種や企業間の差が大きく、二極化傾向が顕著な製造業…◇

製造業DIは、▲28.7ptと前月と比べ1.9ptと2か月連続で改善となった。輸送用機械器具を製造している会社では自動車の生産が好調なため、合わせて自動車部品や付属品の注文が多く入り、予想を超える売り上げが得られたところや、3月・4月の季節需要に合わせて衣料品や靴の製造業で先行受注が増えたとの声が聞かれた。しかし、業種によっては電気料金の値上げ懸念から、対象地域外に新規取引先を求める動きがあったとの話があり、また、食品製造業では寒さによる野菜等の収穫量の低下が原材料価格の高騰の要因となっている。

<建設業> ◇…民需・官公需の好調により活況をみせるが、先行き不安な建設業…◇

建設業DIは、前月から10.6pt改善し▲26.1ptとなった。民需関連では、依然として新築の件数は伸びないが、リフォーム工事が好調であった。一方、官公需関連では公共工事の年度未発注があった地域では一時的に好調であるが、全国的には発注の減少傾向に歯止めがかからない状況である。また、ガソリンや軽油等の燃料価格の上昇により採算の悪化し、利益幅が薄いという声が聞かれた。

<小売業> ◇…業種によって要因は異なるが、依然として売上の低迷状態が続く小売業…◇

小売業のDIは、▲46.8ptと前月と比べ▲1.6ptの悪化となった。食料品や日用品小売業では、価格の面で優位な大手のスーパーマーケットやディスカウントストアに顧客を取られ、利益の確保に困難をきたしている。また、野菜等の生鮮品小売業では、天候不順による不安定な入荷量と暖房コストの関係から価格が高騰し、消費者に買い控えを引き起こし、売上が低迷している。一部では、エコカー補助金の復活と、最近のガソリン等の燃料価格の高騰から燃費の優れたエコカーの購入、買い替えが増えてきているとの声もあった。

<サービス業> ◇…全国的に厳しい状態が続き、回復には程遠いサービス業…◇

サービス業DIは、▲38.2ptと前月と比べ▲2.0ptと3か月連続の悪化となった。特に自動車整備業においては、消費者において修理や車検に係る費用を少なくしたいと、チェーン店を選択する傾向が進んでいるとの報告があった。また、宿泊業では豪雪により利用客が伸び悩み、売上が悪化した。飲食業においては、例年に比べ野菜や魚介類の仕入価格の上昇や寒波による暖房費の増加などコスト面での要因により、採算等が悪化していると報告があった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲33.8	▲31.5	2.3	▲26.4	▲22.2	4.2	▲23.8	▲16.7	7.1
採算	▲34.0	▲32.1	1.9	▲30.0	▲25.2	4.8	▲34.0	▲28.3	5.7
資金繰り	▲31.7	▲28.1	3.6	▲26.5	▲22.5	4.0	▲38.0	▲28.2	9.8
業況	▲37.2	▲34.9	2.3	▲30.6	▲28.7	1.9	▲36.7	▲26.1	10.6

業種	小売業			サービス業		
	1月	2月	前月比	1月	2月	前月比
売上額	▲42.6	▲46.5	▲3.9	▲42.6	▲40.8	1.8
採算	▲39.0	▲40.9	▲1.9	▲33.0	▲33.9	▲0.9
資金繰り	▲35.3	▲34.4	0.9	▲27.0	▲27.5	▲0.5
業況	▲45.2	▲46.8	▲1.6	▲36.2	▲38.2	▲2.0

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

全国商工会連合会 企業環境整備課